



JAPAN AIRLINES

日本航空台灣分公司（函）

地址：台北市民生東路3段138號11樓

聯絡電話：(02) 21755815 總務部 薛文秀

受文者：貴校日文系所

發文日期：中華民國一一一年九月十四日

發文字號：日航外發字第2022015號

附件：海報、DM、線上課程預定表、同意書、報名表

主旨：謹送「2022年JAL SCHOLARSHIP 日本研究 PROGRAM」甄選大學生參加
線上研習活動，報名表格式(如附件)，敬請 惠允推薦優秀學生參加甄選。

說明：

- 一、活動宗旨：增進亞洲各國學習日語之大學生對日本的深入了解，促進國際文化交流，期許能成為中日文化交流之橋樑，並積極分享所學，對社會有所貢獻。
現今因新冠疫情影響以致台日間往來受限，特別改為線上研習課程。
- 二、主辦單位：公益財團法人 JAL 財團
- 三、協辦單位：日本航空公司
- 四、線上研習課程日程：2022年11月26、27日，12月3、4、10、11、17共7日
(請參考附檔「全体スケジュール」中研習課程內容，如遇特殊狀況將有所變更，敬請見諒)
- 五、台灣全省甄選人數：4名
- 六、研習方式：第1~5日活動為線上互動及討論，第6日及第7日活動將安排台灣地區入選同學們齊聚一堂，於會場繼續參加與海外地區入選同學之線上交流，第7日並設有日本文化體驗活動及舉辦修業式。
- 七、參加資格：
 - (一) 台中、花蓮以北(基隆市、台北市、新北市、桃園市、新竹縣市、苗栗縣、台中市、南投縣、宜蘭縣、花蓮縣)對日本有興趣之大學、研究所在學學生(2022年參加線上研習時仍具在學資格為限)。
 - (二) 20歲以上、25歲以下、中華民國國籍(本人與其雙親均為不以日語為母語者)、品行良好、身體健康、積極進取、有團隊精神、日語能力檢定2級以上合格者(含2級合格者)。
- 八、注意事項：
 - (一) 獲選同學參加線上研習時，須全程參與研討課程，遵守紀律，若有任何不妥行為，主辦單位將有權隨時終止其參與研習課程。
 - (二) 研習前，將由主辦單位提出事前課題檢討、研習結束後須提交心得報告，參加同學須於主辦單位限定之期間內繳交。
 - (三) 獲選同學參加課程研習期間之錄影內容、書面發表等資料之使用權皆歸屬主辦單位。



JAPAN AIRLINES

(四)獲選同學參加課程研習後，期盼能以日航財團獎學金代表之所學經驗充分活用，貢獻所學。

九、研討主軸：

參加同學請先研讀本次線上研習營討論主軸

「SDGs」：持續可能な未来へ、氣候危機と私たち。踏み出そう、未来に続く豊かさのために

説明:2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。

聯合國發表之17個永續發展目標

[:http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/15760/](http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/15760/)

十、報名辦法：

參加同學填妥報名表(日文格式共4頁)及同意書後，附上日語能力檢定2級(或以上)合格證書影本，以郵寄方式寄至：

(10596) 台北市松山區民生東路三段138號11樓
日本航空台北分公司總務部 薛小姐

十一、報名截止日期：2022年10月6日(星期四)截止收件，郵戳為憑，一律以學校為單位，每校推薦名額(含研究所)最多合計3名。

十二、評選方式：第一次書面審查合格者，將個別通知參加面試。

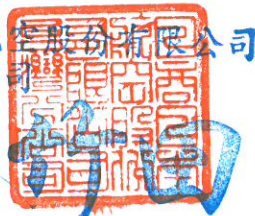
十三、面試日期：2022年10月18日(星期二)(時間將另行通知)

面試方式：將以電郵方式個別通知

十四、公佈日期：2022年11月7日(星期一)(將個別通知)

十五、經費：線上研習課程相關教材與12月11、17兩日往返共同討論會場的交通、餐飲費及平安保險等(不包括電話及網路等私人花費)，均由主辦單位負擔。

日商日本航空株式會社
台灣分公司
總經理



永續發展目標

- 目標 1. 消除各地一切形式的貧窮
- 目標 2. 消除飢餓，達成糧食安全，改善營養及促進永續農業
- 目標 3. 確保健康及促進各年齡層的福祉
- 目標 4. 確保有教無類、公平以及高品質的教育，及提倡終身學習
- 目標 5. 實現性別平等，並賦予婦女權力
- 目標 6. 確保所有人都能享有水及衛生及其永續管理
- 目標 7. 確保所有的人都可取得負擔得起、可靠的、永續的，及現代的能源
- 目標 8. 促進包容且永續的經濟成長，達到全面且有生產力的就業，讓每一個人都有一份好工作
- 目標 9. 建立具有韌性的基礎建設，促進包容且永續的工業，並加速創新
- 目標 10. 減少國內及國家間不平等
- 目標 11. 促使城市與人類居住具包容、安全、韌性及永續性
- 目標 12. 確保永續消費及生產模式
- 目標 13. 採取緊急措施以因應氣候變遷及其影響
- 目標 14. 保育及永續利用海洋與海洋資源，以確保永續發展
- 目標 15. 保護、維護及促進領地生態系統的永續使用，永續的管理森林，對抗沙漠化，終止及逆轉土地劣化，並遏止生物多樣性的喪失
- 目標 16. 促進和平且包容的社會，以落實永續發展；提供司法管道給所有人；在所有階層建立有效的、負責的且包容的制度
- 目標 17. 強化永續發展執行方法及活化永續發展全球夥伴關係

2022 オンラインJALスカラシッププログラム 全体スケジュール案

	日付	曜日	プログラム内容
1	11月26日	土	<p>○SDGsに関する講義やワークショップを通じて、2日目以降の研修準備をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・イントロダクション&アイスブレイク ・ワークショップ
2	11月27日	日	<p>○専門家の講義を受け研修テーマとなる気候危機の現状を学び、気候危機について参加者同士で意見交換を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：気候危機や世界の現状について（講師：平田仁子氏 NGO Climate Integrate） ・オンラインワールドカフェ（グループディスカッション） ・質疑応答 ・振り返り
3	12月3日	土	<p>○気候危機に対する解決策について学びます。また、参加者同士で解決策などを話し合います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：ユースや市民の活動について（講師：宮崎紗矢香氏 国立環境研究所 社会対話・協働推進室コミュニケーター） ・オンラインワールドカフェ（グループディスカッション） ・質疑応答 ・振り返り
4	12月4日	日	<p>○オンラインフィールドワーク（日本の現場の視察）を行い、気候危機に関してどのようなアクションが取られているかを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先：NPO法人しんりん（所在地：宮城県 https://www.vestachp.com） ・グループディスカッション ・振り返り
5	12月10日	土	<p>○オンラインフィールドワーク（日本の現場の視察）を行い、気候危機に関してどのようなアクションが取られているかを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先：日本フードエコロジーセンター（所在地：神奈川県 https://www.japan-fec.co.jp） ・グループディスカッション ・振り返り <p>※訪問先の都合により、開始時間が変更になる可能性があります。</p>
6	12月11日	日	<p>○5日目までの講義やフィールドワークから得た知識を基にアクションプランを考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：アクションプランの作成方法について ・アクションプラン作成 <p>※6日目は現地の会議室に集まりプログラムにご参加いただく予定ですが、コロナ感染症拡大の状況や学生（スカラー）の負担を考慮し、変更となる可能性があります。</p>
7	12月17日	土	<p>○アクションプランを発表していただきます。発表後は、日本文化体験と修了式をオンラインで行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン発表、フィードバック ・日本文化体験（調整中） ・修了式 <p>※7日目は現地の会議室に集まりプログラムにご参加いただく予定ですが、コロナ感染症拡大の状況や学生（スカラー）の負担を考慮し、変更となる可能性があります。</p>

The 2022 Online JAL Scholarship Program
Consent Form

I, the undersigned, hereby agree to abide by all the rules and conditions of the JAL Scholarship Program sponsored by the JAL Foundation, in cooperation with Japan Airlines Co. Ltd., as indicated below.

The conditions and rules of this program are as follows:

1. Duration of the program: November 26,27, December 3,4,10,11,17,2022 (7days in total)
2. The following costs will be met by the JAL Foundation and Japan Airlines:
 - Insurance in case of sickness, injury for the duration of the official scholarship program.
 - Fees for lectures, seminars.
 - All accommodation, as well as food, drink, room charge for use on days 6-7 of the official program at lodgings are to be arranged by the JAL Foundation.
 - Travel costs to conference rooms used on days 6-7.

(Note: All expenses, apart from the aforementioned costs, must be met by the participant.)
3. The student must agree to follow the rules in all online program.
4. The student must attend all classes, all sessions scheduled, and all activities scheduled by the JAL Foundation unless prevented by serious illness or misadventure.
5. The student must have an interest in Japan and be willing to experience Japanese culture and customs.
6. The JAL Foundation shall not be responsible for students' activities, either individual or collective, which take place outside of the official program.
7. The JAL Foundation reserves the right to decide whether a student should be withdrawn from the program in the event of her/his failure to comply with rules.
8. The JAL Foundation reserves the right to decide whether a student is capable of further participation in the scholarship activities or whether the student should be withdrawn from the program in the event of any serious accident or illness.

9. The student is required to submit a report to the JAL Foundation by the assigned due date after her/his completion of the program. The topic and other requirements of the report will be instructed by the JAL Foundation.
10. The JAL Foundation and Japan Airlines reserve the right to retain copyright of any of the students' written submissions and to use them in any publications they deem proper. This additionally applies to any photographs and/or recordings that are taken during the duration of the program.

Failure to comply with these conditions will result in the participant being withdrawn from the program.

Signature: _____ Date: _____ / _____ / _____
(YYYY/MM/DD)

Name (print): _____
Family Name First Name Middle Name

Country/Region: _____

Parent/Guardian's signature: _____

Signature of JAL Branch Director: _____

2022 オンライン JAL スカラシッププログラム アプリケーション

記入日 年 月 日

写真
JPEG 形式
でデータ貼付
(プログラム報告書に
使用いたします。)

基本情報

名前(パスポート表記) Print name as in Passport

ローマ字

Tick Either 姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)
 Full Name

カタカナ

姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)

漢字 Kanji

(if any) 姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)

プログラム中に呼んでほしいニックネーム

国籍

性別 男 女 無回答

生年月日

年齢

月 MM / 日 DD / 年 YY

現住所 (郵送に使用いたします。郵便番号を含め、自宅のご住所を明確に記入してください。カタカナ使用不可。)

Print in English

(郵便番号 Zip-code :) Country/Region

電話 : (日本からかける場合) +

FAX : (if Any) +

E-mail Address :

Any other Addresses for last minute communication before program started
(Skype ID, Wechat ID, Facebook, Line, Weibo, etc.) :

緊急時の連絡先:

名前 _____ 続柄 _____

住所(Print in English) _____

電話(日本からかける場合)+ _____ FAX(If Any)+ _____

E-mail Address: _____

Skype ID, Wechat ID, Facebook, Line, Weibo, (for emergency contact)

学校名 _____

専攻 _____

日常で使用している言語 _____

日本語能力

日本語検定 () 級 () 年

日本語履修暦

英語能力 (参考)

TOEIC () 点 TOEFL () 点

討論ができる 日常会話ができる 片言

その他の外国語 (参考)

_____ 討論ができる 日常会話ができる 片言

_____ 討論ができる 日常会話ができる 片言

_____ 討論ができる 日常会話ができる 片言

海外旅行経験 (参考)

時期・期間 国名 目的

2022 Online JAL SCHOLARSHIP PROGRAM

The 51st Program

毎年日本にご招待しておりますが、今年はオンラインで開催します



プログラムテーマ

[SDGs] ~持続可能な未来へ~ "SDGs" - Towards a Sustainable Future -
気候危機と私たち。踏み出そう、未来に続く豊かさのために The Climate Crisis and Us. Let's step forward for future prosperity.

2022年11月26日、27日、12月3日、4日、10日、11日、17日 (全7日間)

November 26, 27, December 3, 4, 10, 11, 17, 2022 (7days in total)



主催: 公益財団法人JAL財団

協賛:  **JAPAN AIRLINES**

協力:  J.E.E.F.
Japan Environmental Education Forum
公益社団法人 日本環境教育フォーラム

後援:申請中

2022 Online JAL Scholarship Program

毎年日本にご招待していますが、今年はオンラインで開催します。

1.開催期間：2022年11月26日、27日、12月3日、4日、10日、11日、17日（全7日間）

2.プログラムテーマ

「SDGs」～持続可能な未来へ～

気候危機と私たち。踏み出そう、未来に続く豊かさのために

3.内容

1日目

SDGsに関する講義やワークショップを通じて、2日目以降の研修準備を行います。

2日目

専門家の講義を受け、研修テーマとなる気候危機の現状を学びます。その後、気候危機について参加者同士で意見交換を行います。

3日目

気候危機に対する解決策について学びます。また、参加者同士で解決策などを話し合います。

4日目 / 5日目

オンラインフィールドワーク(日本の現場の視察)を行い、気候危機に関してどのようなアクションが取られているかを学びます。

6日目

5日目までの講義やフィールドワークから得た知識を基にアクションプランを考えます。

7日目

アクションプランを発表していただきます。発表後は、日本文化体験と修了式をオンラインで行います。

※6日目、7日目は、各地域の会議室に集まりプログラムにご参加いただきます。(コロナ感染症拡大の状況により、変更になる可能性があります)

4.全プログラムで使用する言語：日本語

5.費用について

参加者の個人的費用(電話代など)を除く、以下の費用はJAL財団が負担・提供いたします。

- ①プログラム参加に必要な交通費
- ②プログラム参加に必要な宿泊費
- ③6日目、7日目の会議室での飲食費
- ④日本文化体験で使用する材料など

JAL スカラシッププログラムとは

JALスカラシッププログラムは、毎年、アジア・オセアニアの大学・大学院生を日本に招待し、研修や文化交流を通じて日本への理解や、国境を越えた相互理解を深めていただき、将来のアジア・オセアニア地域を担う若者を育成することを目的として開催しております。

このプログラムは1975年に日本航空によって創設され、1990年に発足したJAL財団がその運営を引き継ぎ、時代のニーズを反映しながら内容の充実を図りつつ、これまでに1,641名の学生をお迎えしております。なお、その卒業生の多くが、広く世界で活躍されております。

「2022 JALスカラシッププログラム」は、コロナ感染状況に鑑み、オンライン形式で開催いたします。

6.応募条件：

- ①20歳以上25歳以下であること。
- ②日本航空各支店・事業所の地域のご出身で、地域内の大学・大学院に在籍していること(卒業済みの方は応募不可)。
- ③原則として、日本語能力検定試験2級以上であること。
注:講義やワークショップを日本語で行うことから、それを理解できる能力を有していること。
- ④全てのオンラインプログラムに参加し、プログラムに積極的に協力し、ルールを守ることができること。
- ⑤プログラム開始前の事前課題、および、終了後のレポート作成に取り組み、主催者やファシリテーターが指定する日までに提出することができること。
- ⑥日本に興味があり、文化や技術に強い関心を寄せていること。
- ⑦SDGsや環境問題に関心があること(知識レベルは問いません)。

2022 Online JAL Scholarship Program

We invite you to Japan every year, and this year we will hold it online.

1. Period : November 26, 27, December 3, 4, 10, 11, 17, 2022 (7days in total)

2. Theme

"SDGs" - Towards a Sustainable Future -
The Climate Crisis and Us. Let's step forward for future prosperity.

3. Program Contents

Day 1:

Prepare for Day 2 and beyond through lectures and workshops on the SDGs.

Day 2:

Learn about the current climate crisis from an expert lecture. After the lecture, participants exchange opinions about the climate crisis.

Day 3:

Learn about solutions to the climate crisis. Also, participants discuss solutions among themselves.

Day 4-5:

Conduct online fieldwork (see the activities of Japanese companies and organizations online) to learn what actions are being taken regarding the climate crisis.

Day 6:

Develop an action plan based on the knowledge gained from lectures and fieldwork up to day 5.

Day 7:

Announce your action plan. After the presentation, a Japanese culture experience and a graduation ceremony will be held online.

※Day 6 and Day 7, participants will gather in the conference room in the actual place and participate in the program.

(It may change depending on the situation of COVID-19 infectious disease expansion.)

4. Languages used for all programs: Japanese

5. Expenses

The JAL Foundation will bear and provide the following expenses, excluding personal expenses (such as telephone charges) for participants.

- ① Transportation expenses required for participation in this program
- ② Accommodation fee required for participation in this program
- ③ Food and drink expenses for meeting rooms on the 6th and 7th day
- ④ Items used in the Japanese cultural experience

What is JAL Scholarship Program?

The JAL Scholarship Program invites college students from across Asia and Oceania to Japan every year and provides them with opportunities for workshops and cultural interchange. Through these activities, the Program aims to enhance their understanding beyond national borders. This Program aims to develop young men and women who will assume future leadership role in the region.

The Program was launched in 1975 by Japan Airlines. The JAL Foundation took over the management of the Program when it was established in 1990, and has been working to improve its content each year, in tune with the needs of the times. A total of 1,641 students overseas have participated in the Program so far, and many alumni are playing active role in the international community.

"2022 JAL Scholarship Program" will be held online due to the current situation of COVID-19 infection around the world.

6. Applicant requirements

Qualification requirements

- ① Be aged 20 to 25 years old when the program commences.
- ② Be a citizen of the area which he or she is applying for the program from and must be either an undergraduate or postgraduate student in that area.
- ③ In principle, have a command of Japanese equivalent to or above Japanese Proficiency Test Level 2.
(All the lectures and discussions will be prepared and conducted in Japanese.)
- ④ Attend all classes, all sessions, and all activities scheduled by the organizer.
- ⑤ Submit reports on the task assigned prior to the program start as well as on the program activities by the due dates.
- ⑥ An interest in Japan and a strong interest in culture and technology.
- ⑦ Interest in SDGs and environmental issues. (It doesn't matter what level of knowledge you have.)

6. 募集について

「2022 オンラインJALスカラシッププログラム」では、下記の地域で日本語を学ぶ大学生・大学院生を募集いたします。

(募集地域)

北京、上海、広州、大連、ハノイ、ホーチミン、クアラルンプール、台北、韓国、インド

(選考プロセス)

参加者の選考は、募集地域の日本航空支店に委託しております。「2022 オンラインJALスカラシッププログラム」アプリケーションフォームの自由記述欄の内容(本プログラムで学びたいこと、知りたいこと)および、面接により選考いたします。

※ 選考プロセスは各地域により異なる場合がございます。

6. Process of application

"2022 Online JAL Scholarship Program" invites university students who are studying the Japanese language in the following areas.

(Areas participating in this program)

Beijing, Shanghai, Guangzhou, Dalian, Hanoi, Ho Chi Minh City, Kuala Lumpur, Taipei, Korea, India

(Selection Process)

Participants are selected by Japan Airlines (JAL) in each area referring to the text in the "free description" section of the "2022 Online JAL Scholarship Program" application form and the interview.

*The selection process may differ depending on the area.

募集の詳細につきましては、下記に記載しております各地域の日本航空支店にお問合せくださいますようお願い申し上げます。

For details of the application, please contact your areas Japan Airlines (JAL) office listed below.

Japan Airlines branch offices

■北京: chen.sk9x@jal.com

■Beijing: chen.sk9x@jal.com

■上海: ※一般公募は行っておりません。

■Shanghai: *Applications are not accepted at this office.

■広州: jiang.jp9x@jal.com

■Guangzhou: jiang.jp9x@jal.com

■大連: jia.4jlb@jal.com

■Dalian: jia.4jlb@jal.com

■ハノイ: quynh.jn3p@jal.com

■Hanoi: quynh.jn3p@jal.com

■ホーチミン: ly.sb7t@jal.com

■Ho Chi Minh City: ly.sb7t@jal.com

■クアラルンプール: org.kulssp.jali@jal.com

■Kuala Lumpur: org.kulssp.jali@jal.com

■台北: twnbog.zai@ml.jal.com

■Taipei: twnbog.zai@ml.jal.com

■韓国: org.selssg.jali@jal.com

■Korea: org.selssg.jali@jal.com

■インド: org.ijas.jali@jal.com

■India: org.ijas.jali@jal.com

aggarwal.rday@jal.com

aggarwal.rday@jal.com

JAL財団 (JAL Foundation) : org.tyogr2.jali@jal.com

<https://www.jal-foundation.or.jp/>





日本航空公司

台北市松山區 10596 民生東路三段138號11樓



			-		
--	--	--	---	--	--

10610 臺北市大安區和平東路 1 段 162 號

國立臺灣師範大學 日文部、收

(公益財團法人 JAL 財團主辦)

日航獎學金線上研習活動甄選公文及報名表)

文學院

98-00-00-57C

大宗郵資已付掛號函件

松山機場郵局(臺北45支局)

第 003284 號

